

産業・文化祭への地域の関わり〜友好都市との絆〜

総務常任委員会

【視察日程】
平成27年
10月30日〜11月1日

【視察研修先】
兵庫県福崎町
愛知県大府市

【参加議員】
菊池 由紀夫
佐々木大三郎
新田 勝見
安部 重幸
浅沼 幸雄
瀧本 孝一

◆福崎町「民俗学者
柳田國男について」
『遠野物語』の著者
柳田國男の生誕地であ
る福崎町では、「民俗
学者としての柳田國

男」の生い立ちについ
て松岡家に出生した足
跡をたどる視察となっ
た。

8人兄弟の6男とし
て出生し、3人は早世。
5人は医者や軍
人、学者などそ
れぞれの道で大
成し、松岡五人
兄弟と賞賛され
ている。



歴史民俗資料館での研修風景

「日本人とは
何か」その答え
を求め、各地を
調査旅行し、初
期は山の生活に
着目。「遠野物
語」では「願わ
くはこれを語り
て平地人を戦慄
せしめよ」と記

述している。
生家は、松岡家5人
兄弟の功績を顕彰する
記念館や、神崎郡歴史
民俗資料館の西隣に移
設、保存されており、
昭和47年に兵庫県指定
民俗文化財となってい
る。

◆福崎町・大府市産
業・文化祭への地域
の関わりについて

◇福崎産業祭・文化祭
福崎町が主催する福
崎秋祭りの一環行事と
して、商工会・J A兵
庫西・観光協会・体育
協会・文化協会・区長
会・老人会・消防団な
どの各種団体が共催。
福崎町まつり運営委員
会が主管し、「産業祭」
と同時に「文化祭」「各
種展示会」も同時に開
催しており、今年で42
回目となる。

エルデ(大地の意味)
ホール・文化センター
のイベント会場周辺で
は、商工会が主体の展

示即売会(商工会青年
部・女性部による物産
展)が行われ、好天に
も恵まれ活気に溢れて
いた。会場には遠野市
の特産品を販売するテ
ントも目立つ場所に設
置され、リンゴや山ぶ
どうワイン、しいたけ
などの加工品が販売さ
れ、賑わいを見せてい
た。

野外ステージでは地
域の幼稚園児による鼓
笛隊や和太鼓演奏のほ
か、文化講演会の開催
など、多彩なイベント
が繰り広げられてい
た。

◇大府市産業文化まつ
り
昭和45年9月の市制
施行に合わせ、同年11
月に「第1回大府市産
業文化振興まつり」が
開催されたのが始まり
で、今年で46回目とな
る。
主催は大府市に加
え、大府商工会議所、



盛況だった遠野市消防団ラッパ隊のドリル演奏

大府市教育委員会、J
Aあいち知多。地元の
中日新聞社が後援し、
市民体育館、隣接の駐
車場などを会場に行わ
れ、例年約4万人の市
民が来場して賑わうと
のことである。

と感じた。また、今回
は遠野市消防団ラッパ
隊が招かれて大勢の市
民の前でドリル演奏な
どを披露し、アンコー
ルも出るなど、本市の
ラッパ隊の素晴らしさ
をあらためて認識する
とともに、産業文化ま
つりが持つパワーと絆
にも触れることができ
た。

地域の特徴を表す一次産業への取り組み

産業建設常任委員会

【視察日程】
平成27年
11月12日〜13日

【視察研修先】
秋田県藤里町
大野岱放牧場
農産物処理加工セ
ンター

秋田県大仙市
佐藤芳雄氏のドジ
ョウ養殖場

【参加議員】
菊池 充
多田 勉
荒川 栄悦
細川 幸男



白神ラムのブランドで出荷されるサフォーク種

◆大野岱放牧場にお
けるサフォーク種
の飼育について

藤里町では、昭和62
年から水稲の生産調整
への対応として、町が
めん羊を導入。平成5
年の20農家、769頭
の飼育をピークに、安
価な輸入牛肉に押され
生産は減少した。しか
し、県からのめん羊需
要に対する情報を参考
に、町営放牧場の活用
と白神山地の知名度を
活かし、平成23年から
県の補助事業を導入
し、町営放牧場で8か
月飼養するラム肉の生
産を開始した。

飼養管理は、町営放
牧場80ヘクタールと畜
舎など関連施設を職員
1名、臨時職員2名で、
夏季の黒毛和種放牧
100頭(放牧料1日
103円)利用してい
ない1牧区に5月〜10
月まで放牧、11月から
畜舎で繁殖羊から子羊
まで200頭を毎年管

理する。衛生面から土
壌検査の実施、予防面
では腰麻痺予防注射と
便検査によるセン虫・
ギョウ虫対策を徹底し
ている。
消費対策は、第3セ
クターふるさと産業開
発センターが処理加工
センターを運営し、販
売にも取り組む。町の
方針でめん羊部門に
700万円程の一般財
源を支出して、産業振
興と白神ラムのPRに
よる県内外からの交流
人口拡大を図っている。

◆休耕田を活用した
ドジョウ養殖事業
について

大仙市議会副議長を
務める佐藤芳雄氏は平
成24年から中山間の休
耕田を活用したドジョ
ウの養殖に取り組む。
県内では6市町で養殖
がなされ、秋田ドジョ
ウ生産者協議会が設置
されている。年間出荷
量1トン、利益500

万円を見込んで取り組
んでいる。
佐藤氏(認定農業者)
は、平成24年にJ Aか
ら1,600万円を5
年の無利子で借入して
休耕田30アールを整
備。しかし、施設資材
に過大な部分があり、
今後の計画については
工事費の削減が可能で
ある。
清い水が条件で、井
戸による地下水と上流
ダムの伏流水を活用し
て安定した水位を保っ
ている。
稚魚は当初、岡山県
から20キログラム
17,000円で購入。
現在は日本飼
料組合から
7,000円
で購入。水質
浄化のため水
草300本の
植えつけと
もに、EM菌
を使用。餌は
4月〜10月ま
で毎朝5キロ
グラムを与え
る。鳥獣対策
と脱走防止対
策の徹底も大
事。出荷先は



ネットで防鳥対策をした養殖池

今年から地元の他に東
京料理店に週2回の販
売。協議会では、安定
供給に向けた共同ふ化
事業、地産地消の拡大、
新商品開発による6次
産業化の取り組み、県
や信用組合と連携した
事業展開に取り組む。
国内消費量1,000
0トンの大半が中国な
どからの輸入であり、
国産ニーズに沿った日
本一の産地を目指し、
ブランド化を図ってい
る。